

2025年6月2日

日本ゼオン、低燃費タイヤ向け S-SBR 高性能グレードの供給体制を強化

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：豊嶋 哲也 以下、ゼオン）は、主に低燃費タイヤに使用される S-SBR（溶液重合スチレン・ブタジエンゴム）の高性能グレード用生産設備をシンガポールに導入し、徳山工場（山口県周南市）と併せた両極供給体制を強化いたします。このほど Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd.（シンガポール・ジュロン島、Managing Director：浅野 浩一 以下、ZCS 社）にて実施していた高性能グレード用設備の建設工事が完了し、試作期間を経て 2026 年より市場供給を開始いたします。

ゼオンは、徳山工場と ZCS 社にて合計 125,000 トン/年の S-SBR 生産能力を有しており、タイヤの「ウェットグリップ性」「転がり抵抗」「耐摩耗性」を高度に改善する高性能グレードの比率を高めることで、同市場におけるベストオーナーを目指します。

ゼオンでは徳山工場において 1986 年に S-SBR 生産をスタートし、2013 年に稼働開始した ZCS 社と併せた 2 拠点で S-SBR を生産しています。S-SBR は、分子構造を高度にコントロールすることで、自動車の燃費向上に貢献する合成ゴムです。

また、燃費向上だけでなく、耐摩耗性向上によって粉塵発生を抑制し大気汚染防止に貢献することから S-SBR を「SDGs 貢献製品*」に認定し、開発・製造・販売の強化に努めています。

ゼオンの S-SBR の強みは、分子構造を高度にコントロールする技術および卓越した末端変性技術にあります。すでに高性能グレードを生産している徳山工場に加えて、今回 ZCS 社でも生産を開始することで、強固なグローバル供給体制を構築し、S-SBR 事業のさらなる高付加価値化を推進します。



S-SBR



ZCS 社外観

ゼオンは、企業理念「大地の永遠と人類の繁栄に貢献する」を目指し、S-SBR をはじめとする独創的な技術・製品・サービスの提供による地球や社会の課題解決に引き続き取り組んでいきます。

*日本ゼオン、SDGs 貢献製品認定制度の運用を開始（[2024年5月31日 プレスリリース](#)）

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室

電話：03-3216-2747 お問い合わせフォームは[こちら](#)